

関町図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和5年11月2日（木） 14時～15時
- 2 場所 関町図書館 2階 視聴覚室
- 3 出席者 利用者 13名（うち介助者0名）
図書館 4名
(関町図書館長、館長代理2名、広報担当)
- 4 テーマ 「関町図書館に期待するサービスとは」
- 5 配布資料 (1)関町図書館の現状
(2)関町図書館 各サービス実績の推移
(3)関町図書館の実績および区内での位置
(4)令和5年度 練馬区教育要覧（図書館部分抜粋）
(5)これからの図書館構想（概要版）
(6)令和4年度 関町図書館実施事業一覧
(7)令和5年度 関町図書館実施事業一覧
(8)令和5年度 児童定例事業予定
- 6 次第 (1)関町図書館長挨拶
(2)図書館職員紹介
(3)関町図書館 運営実績の説明
(4)参加者自己紹介、懇談
(5)閉会の挨拶

関町図書館利用者懇談会 会議録

1 関町図書館長挨拶

本日は、お忙しい中、関町図書館の利用者懇談会にご参加いただき、ありがとうございます。

関町図書館長です。どうぞよろしく願いいたします。

関町図書館は、昭和57年の9月に開館し、今年で41年目となります。平成28年に改修工事を行い、平成29年の4月にリニューアルオープンして新しい施設としてご利用いただいております。

こういった背景から授乳室、グループ学習室、座席管理席、図書除菌機、デジタルサイネージなど区内でも比較的新しい設備を導入しております。

また、リニューアルのタイミングから運営体制も指定管理者制度を導入しており、私以下職員は、全て民間の企業の者でございます。株式会社図書館流通センターが運営にあっております。

今回は、「関町図書館に期待するサービスとは」というテーマで懇談会を行いたいと思

います。

このあとの流れですが、資料をご覧いただきながら当館の昨年度と今年度前半事業実績を説明いたします。

その後、テーマである「関町図書館に期待するサービスとは」について皆様のご意見をいただき、今後の図書館運営の参考にさせていただきたいと思います。

その際、どのような方がどのような意見をお持ちかをあわせて把握したいため、初めに自己紹介の時間を設けさせていただきたいと思います。

当館との関係やどう図書館を利用されているか、簡単なもので構いません。

なお、本日は練馬区立図書館12館のうち、関町図書館の懇談会となっております。

館独自で答えられないような内容、図書館全体に関わること、図書館システムに関する事などにつきましては、お答えできない場合がございます。

そういった質問や意見については、こちらでご意見を承りまして、統括館である光が丘図書館と相談した上で、後日、図書館ホームページにて回答させていただきます。ご了承ください。

また、11月11日（土曜）午後2時から光が丘図書館の懇談会がございます。図書館全体のご意見等を問い合わせられる場合は、そちらにご参加いただければと思います。

2 図書館職員紹介

関町図書館長、館長代理2名、広報担当

3 関町図書館 運営実績の説明

4 参加者自己紹介、懇談

利用者 上石神井児童館です。上石神井児童館は本年度から指定管理者が変更になりました。児童館の利用者も図書館を使っていること、また児童館の図書閲覧スペースの参考になればと思い参加しました。

利用者 関町児童館です。児童館は小学生だけではなく、0歳から18歳までのお子さんが利用しています。地域の子供たちのため図書館と協力していきたいです。例えば、関町図書館では定期的にボードゲームのイベントをやっているようですが、児童館でも行っています。

こういった共通したイベントの連携ができればと思っています。

また、関町児童館は関町児童館学童クラブを併設しています。この関町児童館学童クラブが夏休みに図書館から本を借りています。

利用者 関町地域包括支援センターです。私は地域包括支援の業務の中でも、65歳以上の方の自宅を訪問し、健康状態の確認や地域資源に繋げるサポート業務に携わっています。

図書館からは出張型街かどケアカフェを開催する際、テーマに沿った本を借

ることがあります。

地域包括支援センターの利用者の中には、図書館に雑誌や新聞を読みに行くのが日課と話す方も多くいらっしゃいます。図書館が地域の方々の居場所になっていると感じています。

利用者

関町福祉園です。この図書館から徒歩数分の場所にある、知的障害や自閉症の方などの通所施設です。

図書館には年に3回出張おはなし会に来てもらっています。参加者ごとに動物が好きな人へ、電車が好きな人へなど関町福祉園利用者のニーズに沿って演目を選んでもらっています。

中々図書館に直接来館することが難しい方が多い中、図書に触れられる機会をみなさん凄く楽しみにされています。

利用者

関町リサイクルセンターです。関区民センターの隣にあります、区民に向けて環境啓発を行う施設です。環境をテーマにした講座を年間約200回行ったり、三階建ての建物の一階部分でリサイクルショップを運営したりしています。

関町図書館には以前リサイクルセンター主催の「センターまつり」に出展してもらい、リサイクル資料の配布をしてもらいました。今年も三月に行う予定なので是非協力してほしいです。

利用者

地域子ども家庭支援センター関です。センターを利用している方から「図書館に行ってきた」という話を良く聞きます。私自身は今日初めて来館しましたが、色々なサービスがあるようなので利用者にも伝えられるようにしたいです。

利用者

はつらつセンター関です。練馬区在住の60歳以上の方へ向けた健康増進のための施設です。

関区民ホールと関区民事務所と同じ建物にあります。また関町リサイクルセンターが目の前に建っています。

はつらつセンター関では、図書館から本を借りて「図書コーナー（関町図書館文庫）」を設置して利用者に見てもらっています。

加えて、今年度は共催講座を行う予定です。はつらつセンター関に図書館員を招き、認知症予防をテーマにブックトークを行う予定です。

反対にはつらつセンターの職員も図書館で事業を行い、はつらつセンターの使い方の説明や出前講座を行う予定です。

利用者

みどりの風です。視聴覚室を使用しているコーラスグループです。関町小学校のPTAで結成したのが始まりで、名前の由来は同校の校歌から。40年ほど活動を続けています。

地域との繋がりとしては、コロナ禍の前ですが、毎年クリスマスの時期に

関町児童館でクリスマスソングを歌うなどして子供たちと交流していました。

関町図書館では、コーラスグループ3団体合同で音楽会を開催したことがあります。

利用者 本の修理ボランティアです。長年関町南に在住していて家族全員で図書館を活用しています。

利用者 本の修理ボランティアです。参加のきっかけは、ボランティアの募集をたまたま館内で見かけたことです。活動をしながら本の扱いについて学んでいます。

利用者 関町読書会です。図書館の視聴覚室で毎月第一月曜日の午後に活動しています。代表者が体調不良のため代理で出席しました。

読書会では読む本を団体貸出のサービスを使って借りています。その手続きの際図書館職員には親身になって対応してもらっています。

関町読書会は設立から40年、図書館を利用し始めてからは20年ほどになります。

図書館 自己紹介をありがとうございました。

それでは引き続き懇談に入ります。今回のテーマ「関町図書館に求めるサービスとは」について、ご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

利用者 関町読書会です。図書館主催の講演会などをもっと頻繁に開いてくれると参加しやすいと思います。

また、こどもコーナーに漫画が置いていないようですが、漫画は図書館で所蔵しないのでしょうか。以前は漫画本かという感覚を持っていましたが、今は日本の文化として認められてきていると感じています。質の良い作品を是非所蔵してほしいと思います

図書館 講演会の回数については今後の参考にさせていただきます。

練馬区立図書館では漫画も資料として収集しています。関町図書館では漫画本はティーンズ向け資料として所蔵しているため、2階のティーンズコーナーに置いてあります。

図書館の中でも非常に貸し出しの多い資料です。子供から大人まで幅広い世代に利用されています。

利用者 関町読書会です。視聴覚室利用の事前申し込みができておらず、読書会が開催できなかった日がありました。

読書会という話し合いを必要とする活動の性質上、図書館の中で場所を確保するのは難しいとは思いますが、どうにか場所を都合できなかったのでしょうか。

利用者 みどりの風です。図書館の視聴覚室利用を申し込む際の方法が電話、来館のみというのは昨今非常に珍しいと思っています。
申し込みができていないかどうか不安になり直前に電話で確認することもあります。
ホームページ上で利用申し込みや、申し込み状況の確認ができるシステムがあると嬉しいです。

図書館 何点かご意見をいただきましたが、大原則として図書館は全ての利用者、全ての団体に対し公平になるようサービスを提供しています。
一つずつ整理させていただきたいと思います。諸室の利用について、区立図書館としてのルールは、コロナ禍以前は前日までに申し込みをしなければならなかったことになっていました。
その後コロナ禍に入りまして、利用のされ方が変化してきたこともあり、当日の申し込みについては各図書館でそれぞれ運用を定めることになりました。
今現在、関町図書館では原則として前日までに申し込んでいただくことにしています。
その理由は、申し込みがない時に図書館サービスの一環として、視聴覚室を臨時閲覧席として開放しているからです。
この予定は利用者に公表しています。
また、仮に利用当日に申し込みがあった際、臨時閲覧席を使っている方、利用を予定している方がいた場合、別の利用者が部屋を使いますので席を移動してくださいということになり、公平な対応ではないと考えています。
会議室は臨時閲覧席として開放していないため、他の申し込みが入っていない時間でしたら当日でも借りられます。

利用者 関町読書会です。その日は会議室も借りられませんでした。

図書館 残念ながら、当該の日、会議室では練馬区で開催する「全国都市農業サミット」に関する企画展示を行っていたため貸し出しできませんでした。
関町図書館では利用いただける部屋が会議室と視聴覚室のみであるため、お断りした次第です。
私どももご意見を踏まえて、電話や来館で受け付ける予約の方法を相互でわかりやすい形になるよう検討してまいります。
ホームページでの受付、予約状況の確認については、練馬区立図書館全体の運用にかかわる内容となり館独自ではお答えできないため、光が丘図書館と相談いたします。

利用者 本の修理ボランティアです。数字がわかったら教えてほしいのですが、関町図書館の貸出数の内、予約で取り寄せした資料を貸し出した割合はどの程度な

のか知りたいです。

私は長い間、関町図書館を利用していますが、ずっと利用しているといつも同じ本が棚に並んでいるように見えてしまいます。関町図書館の蔵書が約15万冊あったとしてもそのように感じてしまいます。

しかし、練馬区立図書館全館で合計すると資料を約188万冊も所蔵していて、これが全て使用できるのは本当に素晴らしいことだと思います。どんどん新しい本も入ってきています。

このため利用が長くなるほど、他の図書館から本を取り寄せる予約サービスを活用するようになります。

しかし、図書館の利用に慣れていない方は図書館の本棚から選ぶことが多いと思います。徐々に図書館の魅力が薄れていく傾向があると思います。

私の提案としては、関町図書館だよりなどで他の図書館の所蔵を紹介してもらいたいです。

例えば先ほど関町読書会から話が上がった漫画について、〇〇のシリーズは関町図書館に置いていないけど、●●図書館にならありますよと言ったような。

こうして紹介することで、本棚から本を選ぶ感覚で読みたい本を探せるようになるのではないのでしょうか。

同時に、図書館の仕組みや利用方法をしっかりと説明するイベントを行うといいと思います。図書館に来れば約188万冊の本が活用できると、子供にもわかるようになるのと凄く魅力的になると思います。

そういった類の広報をしてもらえたらという提案です。

図書館

三点ご意見がありました。一点目の関町図書館の貸出数の内、予約で取り寄せた資料の割合については、申し訳ありません、正確な数字をすぐに示せるものが手元にございません。

ただし予約の受付状況については間接的ですが動きを調べており、図書館で所蔵する本を選ぶ作業を「選書」と言いますが、例えばこういった傾向の本をいつも予約で取り寄せしているなど、選書する本の候補の参考としています。

また、区立図書館を繋ぐ連絡便がほぼ毎日走っています。これに乗って一日当たり200から300点ほど予約により取り寄せられた資料が届きます。同じ程度借りられているのではないだろうかと思います。月平均約4万1千500点の貸出に対し、約1万4千500点の予約を受けていますので、おおむね34%ほどです。

二点目の同じ資料が本棚にいつも並んでいるように感じてしまうのご指摘については、地下の書庫に大体5万冊前後所蔵しています。15万冊の所蔵の中1/3程度が置いてあります。

そのため、普段利用者みなさんに見えている本は全体の2/3ぐらいです。職員もそのように考えておりますので、毎月特集展示という形で紹介する資料に含めみなさんの目に触れるようにしています。答えが漠然としていて申し訳ありません。

そして三点目の図書館の使い方についてのイベントや、各館で所蔵している資料の紹介については、ご指摘の通りと感じました。今後検討させていただきます。

別件ですが、近隣の小中学校との連携においても図書館の使い方についてオリエンテーションを行いたいという話がでています。一般の利用者に対しても何かしらアプローチをしていきたいと思えます。

利用者 本の修理ボランティアです。リニューアル開館後、特集展示が凄く良くなったと感じています。並んでいるものが手に取りたくなるようなラインナップです。みなさんもぜひ借りてみてください。

利用者 関町福祉園です。関町福祉園の利用者にとって本と触れ合える機会はとても貴重なものと考えています。年3回出張おはなし会に来ていただいています。可能であれば、もう少し回数を増やしてもらえると嬉しいです。

というのも、現在福祉園の利用者が約30名いて、10名ごとのグループに分かれています。おはなし会に参加するのは1グループずつのため、実質一年に一度の機会です。

図書館の方も色々なお仕事があると思います。そのため、福祉園の職員が読み聞かせができるような、読み聞かせセットのようなもの作っていただけると嬉しいです。

図書館 出張おはなし会に伺うことが図書館員にとっても大変良い刺激になっており、コロナ禍の難しい状況でも継続できてよかったと思っています。

おはなし会に伺った図書館職員も、参加者のリアクションを受けて次回のおはなし会の演目を選ぶ参考にしていると聞いています。

読み聞かせ用の本を図書館から紹介することは、とてもよいアイデアだと思いました。今後の参考にさせていただきます。

利用者 関町読書会です。練馬区立図書館で新しく本を購入する際に、何か基準などはあるのでしょうか。特に予約で待っている人がたくさんいるベストセラーの扱いが知りたいです。

図書館 図書館の資料を購入する際に、選定基準というものが練馬区立図書館全体で決まっています。これに基づいて職員が資料を選定します。

選定するものは新しく出版された本や、先ほど予約の件で申し上げたように図書館の本棚に足りない分野の本を探して検討しています。

その上で所謂ベストセラーと呼ばれる本、貸し出しや予約の件数が多いものについては、予約が何件以上の場合は何冊所蔵しましょう、というように区立図書館全体でルールを定めています。

本棚も予算も有限であるため、予約で待っている方に提供するために同じ本をたくさん購入すると、他の本が買えなくなってしまう。その兼ね合いも判断材料のひとつです。

また、予約を受け付けた資料は必ず一度、購入を検討します。区立図書館として、あるいは関町図書館として購入すべき資料かを基準に則り判断しています。

利用者 関町読書会です。読書会の会員の中には、読書会で読む本を図書館から何某かの理由で借りられなかった場合自分で購入することがあります。

これを図書館で需要に対して所蔵数が足りていない本だと思い寄贈したことがあります。その際にあまり歓迎されていない印象を受けました。

図書館 そのような印象を与えてしまったことについて、大変申し訳ありません。

図書館は資料を寄贈いただくのは本当にありがたいと思っています。

ただ、本を寄贈していただいても、図書館の棚のスペースが限られていることから所蔵を見送る場合があります。

例えば版の古い百科事典や昔の雑誌などは相談を受けた場合、事情を説明しお断りすることもあります。

寄贈資料に関する基準に則り図書館では所蔵しないと判断したものに関しては、リサイクル資料として区民のみなさまに提供し、活用していただいています。

寄贈の申し出のあった方には必ずこの説明をして、ご納得いただいた上で寄贈いただいています。どうぞご了承ください。

利用者 上石神井児童館です。現在児童館では図書ボランティアの方に来ていただいて読み聞かせを行っています。

児童館を使っている子供たちには図書館を使っている子も多いので、図書館からの出張おはなし会を是非行ってもらいたいです。

相互の交流として例えば児童館職員が出前児童館として図書館に伺うこともできます。

実際に石神井図書館と石神井台児童館とで行っています。児童館の備品や玩具を使って、おまつりのようなイベントを開催しました。

是非地域の公共施設として交流していきたいです。

図書館 是非協力をお願いします。それぞれの施設の特徴ですとか、得意なことが違うかと思います。

お互いの施設で特徴を活かし合う関係が築けたらと思います。

図書館 お時間のようなです。まとまりがなく大変申し訳ありませんでした。本日はお

集まりいただきありがとうございます。貴重なご意見たくさんいただきまして、非常に参考になりました。

このような機会以外でも、気軽に職員にご意見や、こういったことはどうかと言ったようなご提案をいただくと大変助かります。より良い図書館になっていければと思っています。

是非今後とも協力いただきますようお願いいたします。本日はありがとうございました。以上で、懇談会を終了いたします。